

令和7年度 第1回長門市介護人材確保協議会 議事録

1 日 時 令和7年7月10日（木曜日）13時30分～14時40分

2 場 所 長門市役所4階 会議室2

3 出 席 者 別添委員名簿のとおり（堀委員、吉岡委員欠席）

※異動により、以下の委員に変更

- ・上田委員（萩公共職業安定所）
- ・山田委員（長門市役所産業政策課商工振興班）

4 議 事

(1) 開会 高齢福祉課長あいさつ

(2) 報告・協議

1) 令和7年度介護人材確保に向けた取組について

<事務局より令和7年度の介護人材確保に係る取組を説明>

- ・奨学金返還補助制度について説明【企画政策課】
- ・県が実施しているやまぐち移住支援金制度の周知について説明【企画政策課】
- ・昨年度から新たに始めた求人情報発信支援（就職情報サイト等への掲載に係る費用補助、採用を目的とした企業紹介動画作成費用補助、採用に係るホームページの新規作成・改修に係る費用補助、その他求人情報発信に要する費用補助）について説明【産業政策課】
- ・外国人雇用相談会の開催について説明【産業政策課】
- ・今年度から新たに始めるスポットワーカー活用事業（スポットワーカーの活用に係る手数料に対する補助）について説明【産業政策課】
- ・今年度から新たに始める外国人雇用・活用事業（外国人雇用に係る費用補助）について説明【産業政策課】

<意見交換>

(事務局)

- ・もっとこういう補助があったらいいというものがありますか。

(委員)

- ・ICTの補助は県がやっていますが、市でも同じような補助があるといいと思います。

(事務局)

- ・別の補助金で、8月末から申請受付予定の省人化補助金というものがあり、これは省人化に資する機械の導入費を補助します。広報等で周知しますので、こちらを利用いただけたらと思います。

- ・県が今年度からICT補助を拡充（最高1,000万円補助）していますが、どうでしょうか。

(委員)

- ・見守りスキャンの導入に数千万円とかかります。県の補助金は申請中です。

(事務局)

- ・他の事業所でも活用したい旨の話を聞いています。4分の3の補助であり、また7月7日に山口県介護生産性向上総合相談センターがオープンし、この補助金の受付やICT化に

係る各種相談をしてもらえるそうです。市内事業所に対してもメールにて周知しております。ICT化を考えている事業所はお気軽に問い合わせていただきたいと思います。

・市の省人化補助金も3分の2の補助ですが、県ほど要件は難しくないためうまく利用していただきたいと思います。市内事業所に積極的に活用していただけるようメールにて周知します。

(事務局)

・昨年度もやまぐち移住就業支援金について説明し、介護事業所にも周知していますが登録が1社のみです。登録しない理由は何でしょうか。

(委員)

・大都市圏からの移住のみだからではないかと思います。

(事務局)

・昨年度から広島県と福岡県も追加されました。もし長門市に介護事業所の募集の登録が少なかったら他の市町にいってしまう可能性もあるので、ぜひ登録は無料なので登録をお願いします。

(委員)

・他の市町の登録もあるのですか。何件ぐらい実を結んだのですか。

(事務局)

・ホームページで他市町の登録状況は確認できます。どこの市町も少なかったように記憶しております。どれくらい実を結んだのかはすみませんが把握できておりません。

(事務局)

・産業政策課の補助で今年度からスポットワーカーの活用に係る補助がありますが、介護事業所はそのような働き方は向かないでしょうか。

(委員)

・入所系の事業所であれば、スポット的に来られた人にも任せられる仕事があると思いますが、通所系や訪問系は難しいのではないかと思います。

・利用者さんと関わる仕事なので、繰り返し来ていただけるのであれば、顔見知りとなり可能かと思います。

・入浴介助とか洗身などは、その利用者の状態が分かっていないと難しく危険だと思います。脱衣場での補助等はできるかもしれません。

・基本的には資格がある人がいいと思います。

・利用者を把握していないと身体介護に入るのは厳しいと思います。

(事務局)

・ICT関連でご意見はありませんか。

(委員)

・タブレットの活用によりヘルパー同士の連携が取りやすくなるという感じだと思いますが、現在もLineを利用して利用者の状態変化等を即座に連絡できるようにはしていますが、指導監査の際は、そのやりとりが印刷されていないと駄目なため、別に記録を書かないといけません。Lineはいろいろな人の情報が入っているため、それを個別に振り分けて印刷となるとめんどくさいので、結局、個別に記述やパソコン入力をしています。楽になってい

るとはあまり思えません。施設系の事業所は恩恵があるかもしれません、在宅系の事業所にはタブレットは向かない感じがします。

- ・伝達事項等を言葉で記録できるソフトウェアがあります。スマホにも登録可能です。
- ・そのようなソフトウェアは初期費用が高額であり、高齢の職員が多いため使い方を覚えてもらうのが大変です。自分の事業所は、Line の利用が精一杯でどこまで活用できるか疑問があります。ICT をうまく活用できる若い職員はなかなか雇用できません。

(事務局)

- ・山口県介護生産性向上総合相談センターとお話しした際に、小規模な事業所にメリットのある ICT 機器を聞いたところ、コミュニケーションの円滑化のためのタブレット導入が多いと言われていました。

(委員)

- ・職員がそこまでやる必要があるならやらない方がいいとなってしまいます。

(事務局)

- ・高齢の職員が ICT 機器についていけない、慣れるまでが大変という話はよく聞きます。今後、国が進めている介護情報基盤というものが導入されていき、どんどん ICT 化が進んでいく流れとなっています。なかなか人材を雇用できない状況なので、業務効率化という視点も重要となってきます。行政もしっかりと支援していきたいと思っています。

<萩公共職業安定所より令和 7 年度の取組を説明>

- ・福祉のしごと相談会について説明

⇒主に萩市で開催するが、長門市では 4 回開催される。6 月の開催では、5 名の参加があり、1 名採用となっている。

- ・ハローワーク長門で月 1 回のミニ面接会について説明

- ・介護労働講習について説明

⇒介護福祉士の資格を目指して実施しており、今年度は 29 名（長門市の参加者は 0 人）が参加。山口市での開催のため、長門市からの参加が少ない。

- ・毎年 11 月に実施している介護就職相談・面接会について説明

⇒介護事業所をお呼びして、説明会や面談を実施しています。昨年度から長門市と萩市の 2 会場で実施するようにしています。長門会場では 4 事業所が参加され 10 名が参加されました。今年度も協力をお願いします。

<長門夢・みらいフェスタについての概要を事務局より説明>

- ・小中学生をターゲットとした市内事業等と協働して行うキャリア教育イベント。今年度で 2 回目の開催であり、昨年度は介護職員の魅力向上に繋がるチラシを配布でしたが、今年度は本協議会でブースを出展し、小中学生に直接介護職の魅力を感じてもらいたいと思っています。

- ・出展内容は、社協さんが実施している福祉教育（高齢者疑似体験や車椅子体験等）をベースにブラッシュアップできたらと思っています。

<意見交換>

(委員)

- ・高齢者疑似体験の社協さんが体験セットを持っていたと思います。
 - ・ちょっととした木の棒等をおいて段差を作り、車いすで超えてもらう体験は利用者側と介護側の両方の体験ができると思います。
 - ・小学生がターゲットなのでれば、高齢者疑似体験の一環として、手の指の関節にテープを巻くと関節がなかなか動かなくなるので、その状態でビーズのアクセサリーを作ったりすると興味を持つてもらえると思います。なかなかビーズに通したり、掴むことも難しいとわかつてもらえると思います。
 - ・全て指の関節が拘縮した状態でアクセサリーを作らないで、半分ぐらいまで拘縮状態で作って、後は自由につくるとかであれば、幅広い子に体験してもらえると思います。
 - ・機械系の介護機器があると男の子は興味をもってもらえると思います。
- (事務局)
- ・皆さんの意見を参考に、福祉教育をベースに考えていきたいと思います。

<介護人材確保に係る研修会について説明>

- ・昨年度に実施した研修会の際にとったアンケートで ICT 関連の研修が多かったため今年度のテーマを ICT 活用したいと考えています。

<意見交換>

(委員)

- ・実際に ICT 機器を活用している事業所の話を聞いてみたいです。こういう機器を利用したことでこういう風になったというのがわかるといいと思います。現場の職員が ICT 機器を入れたいと言わないと上の人は動きづらいと思います。現場の人が一見 ICT は難しそうだけど、便利だなと思ってもらうことが必要だと思います。業者さんが ICT 機器の説明に来られますが、現場のお話を聞いてみたいです。
- ・現場では煩雑感をみんな持ってしまっているので、とっかかりのハードルが高く見えていると思います。
- ・介護の仕事は腰痛を持っている職員が多いので、それをカバーする機器をもっている事業所は多いですが、その他にどのような機器を使っているか、事業所同士の交流がなかなかないので見えない部分が多いと思っています。何が便利なのか、高いわりにあまり使えなかつた等の意見を聞いてみたいです。

(事務局)

- ・ICT 関連のテーマで研修を検討したいと思います。
- ・本市は、ケアマネ協しか集まる会議がないので、その他の事業所の横の連携が深まる取組を検討していきたいと思います。

(3) そのほか

(委員)

- ・月に1回、介護職のミニ面接会を実施しています。もし参加の希望があれば問い合わせてください。
- ・ミニ面接会で就職された方は、もともと介護職をされていて、別の仕事をするよりも、介護職の方が良いと復職される方が多いと感じています。なかなか新規の方は少ないです。
- ・2年前に福祉の専門学校を卒業し、長門市に就職された方が3人しかいないと聞いたことがあります。
- ・介護職は、経験がない方でも、高齢の方でも働くことができます。70歳後半の方も事業所にはいます。
- ・現場職員から、介護福祉士等の資格に合格したらお祝い金みたいなものがあればよいという意見がありました。

(4) 閉会